

—札幌市—

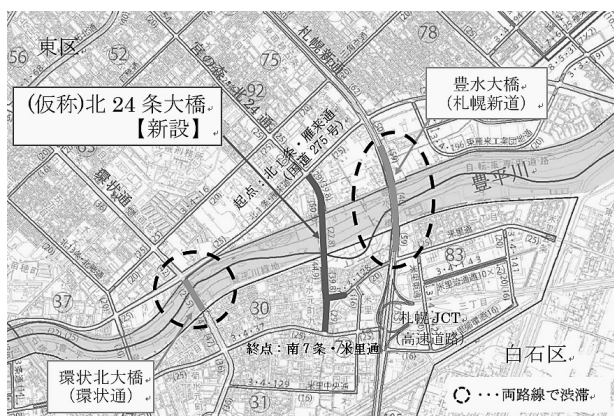
宮の森・北24条通 整備事業

～（仮称）北24条大橋の架設工事について～

1. はじめに

宮の森・北24条通の整備事業は、主要幹線道路の札幌新道と環状通の渋滞緩和を目的として、両路線の中間に位置する宮の森・北24条通を延伸し、直轄河川である豊平川に橋梁を新設するものである。

事業により交通の円滑化を図るとともに、都心北側から高速道路へのアクセス向上、豊平川で分断された地域の連携、防災性の向上等を目指している。



事業箇所図

2. 事業計画

事業区間：北1条・雁来通（国道275号）～
南7条・米里通

延長・幅員：L＝約1,160m W＝29.0～22.8m

事業認可期間：平成23年7月1日～
令和5年3月31日

3. 橋梁諸元

橋長：318.70m 幅員：22.8m

上部工：4径間連続細幅箱桁（合成床版）

下部工：A1橋台 逆T式橋台

A2橋台 ラーメン式橋台

P1～P3橋脚 壁式橋脚（小判型）

基礎工：場所打ち杭（φ1,500～2,000）

P3橋脚 ニューマチックケーソン

4. 整備スケジュールについて

橋梁については、平成25年度から杭や橋台・橋脚の施工に着手し、平成28年度に橋梁下部工が完

了している。その後、平成29年度から桁製作を進め、平成30年度から架設工事、令和2年度から令和4年度にかけては、残りの桁や床版の製作・架設、舗装に着手する予定である。

また、道路工事については、平成28年度から地盤改良を進めており、令和2年度からは、擁壁、道路改良、舗装に着手し、令和4年度に道路の供用開始を予定している。



完成イメージ

5. 橋梁工事（上部工）の施工について

低水路を跨ぐ部分の桁架設は、クレーン架設を併用した送出し架設工法にて施工している。送出しに使用する設備は、ジャッキによる送り装置を使用し、左岸から右岸に向かって約140mの送出しを行うものである。



送出し状況

6. おわりに

現在、供用開始を目指して関係機関との協議や、地域住民との調整を行いながら事業を進めている。宮の森・北24条通の整備により、目的としている事業効果を発揮すべく、引き続き事業の推進に取り組んでいきたい。

（札幌市 建設局 土木部 工事課 小柳 良太）